



**Fan Brand,
Fun Brand,
Make Fans**

2024年1月25日
ふぁん・じゃぱん株式会社



目 次

1. 自己紹介
2. 事業紹介
3. マレーシア市場の特徴とよくある誤解
4. マレーシア市場における日本食のトレンド
5. Made in Japan と Made by/with Japan

自己紹介

- ✿ ふあん・じゃぱん株式会社 <http://fanjapan.jp/>
- ✿ 代表取締役 五木田 貴浩
- ✓ アンダーセンコンサルティング株式会社（現、アクセンチュア株式会社）出身
 - ビジネス・ITコンサルティングに従事
 - 最終職位シニアマネージャー
- ✓ グリシャス株式会社を設立（2011年）
 - 国産食材のダイレクト流通支援・プロモーション等を実施
 - マレーシア・シンガポールにおける現地展示会・フェアのアレンジ
- ✓ ふあん・じゃぱん株式会社およびFAN JAPAN (MALAYSIA) SDN BHDを設立。（2014年）
 - 日本の商品・サービスの海外展開・販路開拓を支援。
- ✓ JETROクアラルンプール事務所中小企業海外展開現地支援プラットフォームコーディネーター(2021年)
- ✓ 著書『ハラルマーケットがよくわかる本』
 - Amazon 海外進出力カテゴリ第1位獲得
 - 日経新聞2014年3月9日朝刊に掲載
 - 『月刊 激流』（国際商業出版、流通業界専門誌、2014年5月～8月号に寄稿）





事業紹介



ワンストップサービス



弊社のハラル事業紹介動画



【アクセンチュア】執行役員への昇格を捨て海外起業／市場規模は“トヨタの10倍”320兆円／マレーシアで大福とクリームパンが爆売れ／JAPANブランドを世界へ売り込む／原点は海の家【世界をMEGURU】



PIVOT 公式チャンネル
チャンネル登録者数 124万人

登録済み

1026



共有

オフライン

クリップ





マレーシアの基本情報

【人口】	3,310万人(2022年IMF推定)
【面積】	33万km ² (日本の約0.9倍)
【首都】	クアラルンプール(人口: 177万人、2021年マレーシア統計局)
【言語】	マレー語、英語、中国語、タミル語
【民族】	マレー系約70%(含む先住民15%)、中華系22%、インド系7%、その他1%、(2021マレーシア統計局)
【宗教】	イスラム教61%、仏教20%、キリスト教9%、ヒンドゥー教6%、儒教・道教等1%、その他
【通貨】	マレーシアリングgit(MYR)
【政治】	立憲君主制(議会制民主主義)
【元首】	アブドゥラ第16代国王(2019年1月就任、任期5年)
【主要産業】	サービス業
【名目GDP】	4,341億米ドル 一人あたりGDP: 13,108米ドル(2022年IMF推定)
【GDP成長率】	5.4%(2022年IMF推定)

出典：2023年3月マレーシア投資環境（みずほ銀行）



マレーシア市場の特徴

高い購買力

- ✓ 一人当たりGDPが1.3万ドル（首都2.5万ドル）
- ✓ 可処分所得3.5万ドル以上の富裕層が約20%（約660万人）
- ✓ 1.5万ドルから3.5万ドルのミドルアッパー層が約50%（約1500万人）

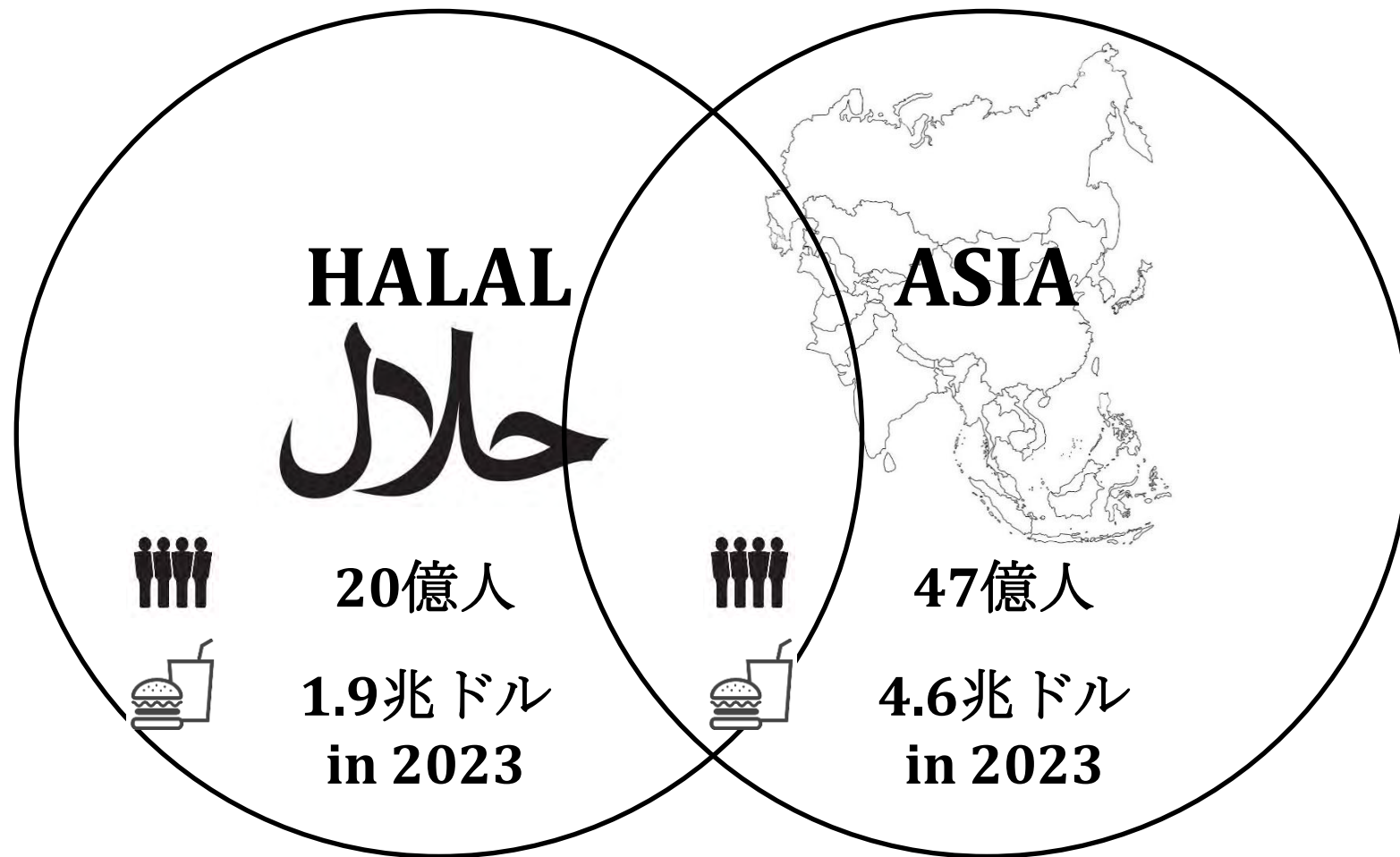
グローバル市場展開の テスト市場

- ✓ 多民族多宗教
- ✓ マレー系70%、中華系22%、インド系7%
- ✓ イスラム教61%、仏教20%、キリスト教9%、ヒンドゥー教6%

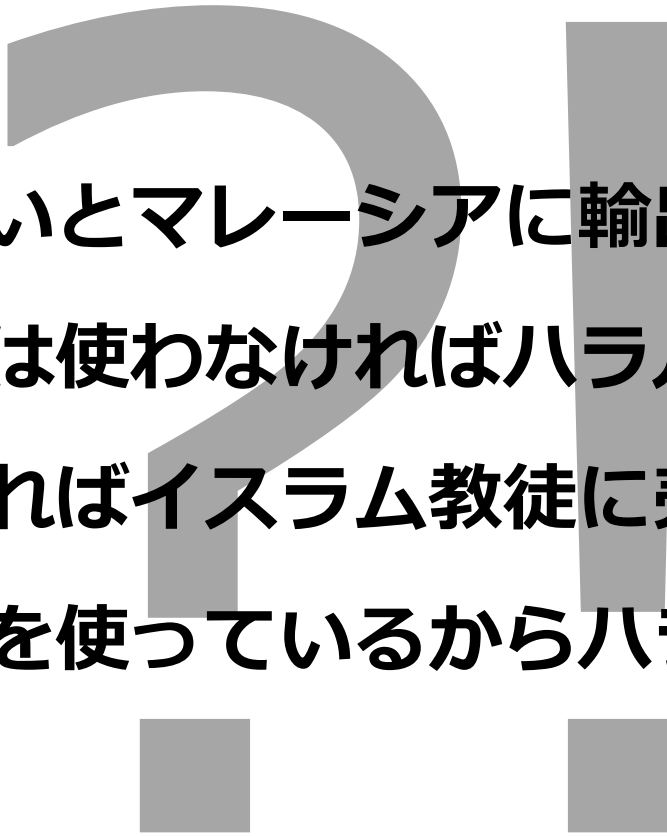
イスラム市場の ゲートウェイ

- ✓ ハラルハブ政策・JAKIM（相互認証先43か国、83団体）
- ✓ Global Islamic Economy Indicator（世界イスラム経済指標）で9年連続1位（食品、金融、旅行、メディア分野で1位）

マレーシアが関わる世界市場規模



マレーシア輸出やハラルに関する誤解

- 
- ✗ ハラル認証がないとマレーシアに輸出できない
 - ✗ 豚とアルコールは使わなければハラル認証がとれる
 - ✗ ハラル認証をとればイスラム教徒に売れる
 - ✗ アルコール消毒を使っているからハラル認証はとれない

マレーシアの食品市場規模

食品市場規模（ASEAN5+日本）（2020年）

区分	項目		単位	マレーシア	シンガポール	タイ	インドネシア	ベトナム	日本
基礎情報	GDP		兆円	38	39	57	120	31	573
	1人当たりGDP		万円	118	677	81	44	32	455
	人口		百万人	32	6	70	274	97	126
	富裕層人口		万人	666	450	272	608	138	7,747
市場規模 (総額)	小売	生鮮食品	億円	13,733	2,352	27,369	60,604	45,231	125,164
		加工食品	億円	8,671	3,109	16,552	36,969	16,067	232,036
		アルコール飲料	億円	3,199	3,159	17,106	1,829	11,487	80,762
		ソフトドリンク	億円	1,742	1,055	9,672	9,925	6,072	66,993
		ホットドリンク	億円	861	238	1,340	5,455	1,087	8,798
		健康ウェルネス飲食食品	億円	2,947	1,233	6,261	12,529	5,943	62,360
	外食	フードサービス	億円	9,786	7,682	26,068	27,942	25,046	184,480
	小計		億円	40,938	18,829	104,368	155,254	110,933	760,593
市場規模 (1人あたり)	小売	生鮮食品	円	42,429	41,363	39,211	22,157	46,467	99,466
		加工食品	円	26,789	54,686	23,714	13,516	16,507	184,395
		アルコール飲料	円	9,884	55,556	24,507	669	11,801	64,181
		ソフトドリンク	円	5,382	18,563	13,856	3,629	6,238	53,238
		ホットドリンク	円	2,660	4,191	1,919	1,994	1,117	6,991
		健康ウェルネス飲食食品	円	9,104	21,691	8,970	4,581	6,105	49,557
	外食	フードサービス	円	30,236	135,110	37,347	10,216	25,731	146,604
	小計		円	126,484	331,160	149,525	56,761	113,967	604,432
日本からの農・林・水産物の輸出	輸出額		億円	122	295	401	78	534	-
	前年比		%	+14.8	▲3.5	+1.5	+13.4	+17.8	-
	輸出先国順位		位	12	8	7	15	5	-
	輸出上位品目		1位	アルコール飲料	アルコール飲料	かつお・まぐろ類	かつお・まぐろ類	粉乳	-
	輸出上位品目		2位	いなし	牛肉	豚の皮	観賞用魚	さば	-
	輸出上位品目		3位	小麦粉	小麦粉	いなし	播種用の種等	かつお・まぐろ類	-

*富裕層人口は「総人口」×「富裕層（世帯年間可処分所得35,000ドル以上）の世帯割合」にて算出

(出所) 世界銀行、Euromonitor International、農林水産省 *1USD = 113.26円にて換算

出典：JETROクアラルンプール事務所2023年度



マレーシアへの農林水産品の輸出額

日本からマレーシアへの輸出金額（品目別内訳）（2012年～2022年）

234億円（11位）
2012年から4.5倍

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1	さば 383百万円	さば 564百万円	さば 438百万円	いわし 922百万円	いわし 552百万円	アルコール飲料 559百万円	アルコール飲料 570百万円	アルコール飲料 562百万円	アルコール飲料 625百万円	牛肉 1,024百万円	アルコール飲料 1,459百万円
2	アルコール飲料 365百万円	アルコール飲料 395百万円	アルコール飲料 387百万円	さば 518百万円	アルコール飲料 516百万円	いわし 552百万円	さば 489百万円	小麦粉 434百万円	いわし 625百万円	アルコール飲料 884百万円	粉乳 1,447百万円
3	清涼飲料水 233百万円	ソース混合調味料 293百万円	ソース混合調味料 338百万円	アルコール飲料 422百万円	ソース混合調味料 322百万円	ソース混合調味料 307百万円	いわし 448百万円	いわし 381百万円	小麦粉 606百万円	小麦粉 795百万円	牛肉 1,350百万円
4	配合調製飼料 220百万円	配合調製飼料 223百万円	いわし 274百万円	ソース混合調味料 409百万円	さば 320百万円	緑茶 277百万円	ソース混合調味料 334百万円	ソース混合調味料 379百万円	さば 489百万円	観賞用魚 506百万円	小麦粉 1,200百万円
5	ソース混合調味料 208百万円	いわし 214百万円	配合調製飼料 252百万円	配合調製飼料 277百万円	配合調製飼料 250百万円	さば 274百万円	緑茶 323百万円	緑茶 314百万円	牛肉 436百万円	緑茶 468百万円	菜種油・からし油 911百万円
6	錦鯉等 162百万円	清涼飲料水 169百万円	たばこ 182百万円	大豆油 262百万円	緑茶 225百万円	配合調製飼料 260百万円	牛肉 265百万円	牛肉 308百万円	緑茶 358百万円	ソース混合調味料 440百万円	魚油（肝油除く） 728百万円
7	菓子（米菓を除く） 139百万円	かつお・まぐろ類 138百万円	かつお・まぐろ類 163百万円	緑茶 215百万円	菓子（米菓を除く） 186百万円	ホタテ貝（調製） 240百万円	ホタテ貝（調製） 218百万円	いか 254百万円	観賞用魚 329百万円	菓子（米菓を除く） 410百万円	さば 662百万円
8	いわし 124百万円	錦鯉等 137百万円	緑茶 147百万円	たばこ 206百万円	錦鯉等 111百万円	菓子（米菓を除く） 153百万円	配合調製飼料 218百万円	配合調製飼料 250百万円	配合調製飼料 323百万円	さば 393百万円	緑茶 590百万円
9	かつお・まぐろ類 110百万円	緑茶 132百万円	菓子（米菓を除く） 138百万円	菓子（米菓を除く） 192百万円	スープ フロス 108百万円	清涼飲料水 134百万円	いか 192百万円	観賞用魚 243百万円	ソース混合調味料 320百万円	いわし 350百万円	菓子（米菓を除く） 574百万円
10	パブトン等 78百万円	キャビア及びその代用品 124百万円	錦鯉等 137百万円	清涼飲料水 141百万円	かつお・まぐろ類 96百万円	錦鯉等 126百万円	スープ フロス 168百万円	さば 237百万円	いか 317百万円	配合調製飼料 342百万円	ソース混合調味料 469百万円

（出所）農林水産省

出典：JETROクアラルンプール事務所2023年度



主なマレーシア向け輸出禁止品目

- ✖ 畜産品・畜産加工品（指定屠畜場でハラル屠畜された牛肉は除く）
- ✖ かんきつ類（温州ミカンを除く）
- ▲ 乳製品（輸入ライセンス・施設登録）
- ▲ 酒類（輸入ライセンス・商品登録）
- ▲ 米（BERNAS社にコメの銘柄を指定して、輸入を代行してもらう形）

マレーシア市場で売れている日本食品

日本らしいもの

- ✓ ラーメン、お茶、ホタテ貝柱、お酒など

ユニークなもの

- ✓ 日本食材×●●



コスパ・ハラル

- ✓ お菓子（スナック）
- ✓ 現地生産品（ハラル認証取得商品）





今後伸ばせるカテゴリ

日本らしい商品
X ハラル認証

✓ ラーメン、お茶、お菓子



健康食品

✓ サプリメント



コスパ X
ハラル認証

✓ 現地生産品



オーガニック食品・健康食品売り場



富裕層向けスーパーの
オーガニック食品コーナー
(B.I.G.)



中間層向けスーパーの
オーガニック野菜コーナー
(AEON BIG)



ドラッグストアの
自然食品・オーガニック食品コーナー
(AEON Wellness)



ドラッグストアの
ビタミン・サプリメントコーナー
(Watsons)



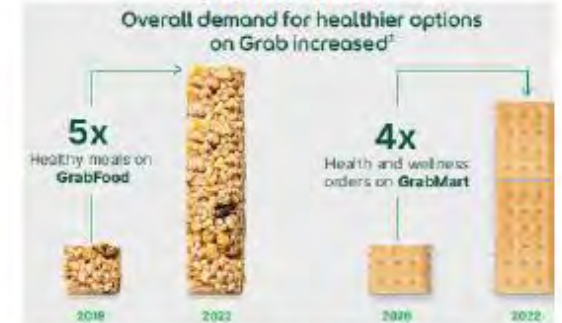
マレーシア初のビーガン専門店
Vegan District
(出所) GRAB、Oliver's Travels



健康食品専門店チェーン
BMS Organics



オーガニック野菜のサブスク配送
(ZENXIN Organic)

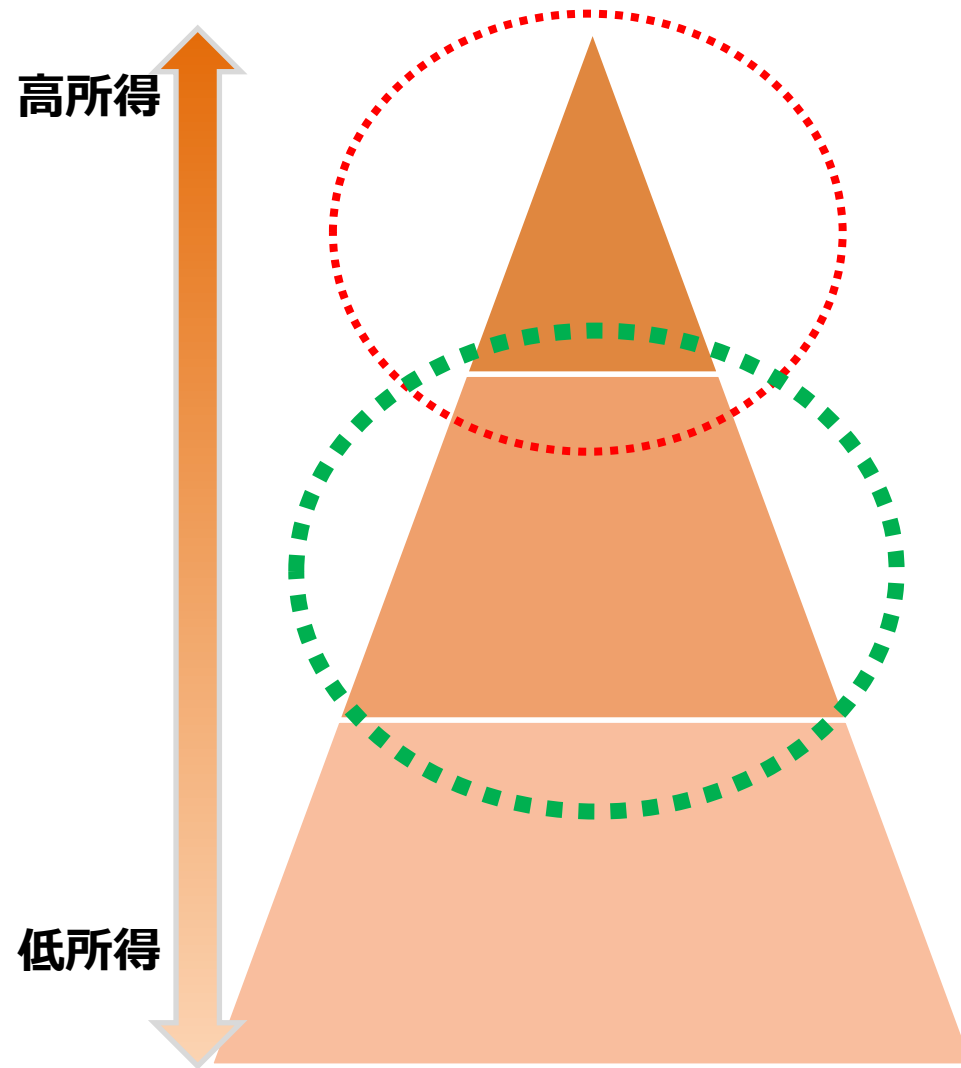


健康志向の拡大 (Grab注文数)
フードデリバリー5倍 (2019>2022)
食品EC4倍 (2020>2022)

出典：JETROクアラルンプール事務所2023年度



Made in Japan と Made by/with Japan



日本製
MADE IN JAPAN

MADE BY JAPAN
MADE WITH JAPAN

ハラル認証を取得している日系企業の商品例



出典：JETROクアラルンプール事務所2023年度

ご清聴ありがとうございました。

【お問合せ先】

ふあん・じゃぱん株式会社

五木田（ごきた）宛

✉ info@fanjapan.jp

☎ 03-6261-5657

